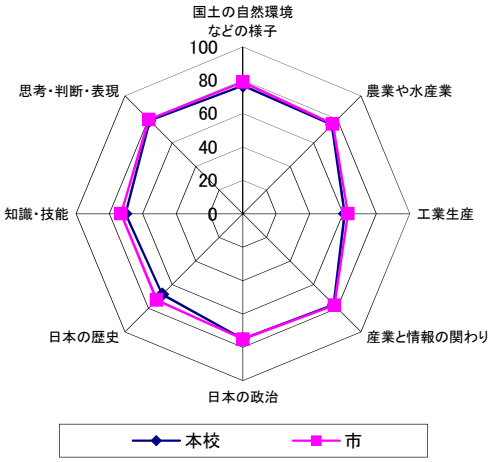
宇都宮市立宝木小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	76.8	78.9	75.4
	農業や水産業	75.4	76.1	71.2
	工業生産	61.0	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	77.0	77.6	59.7
	日本の政治	75.0	75.0	79.3
	日本の歴史	68.4	73.1	72.8
観点別	知識・技能	70.4	73.0	71.4
	思考・判断・表現	79.1	79.8	71.9

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	本校の平均正答率は，市の平均と比べるとやや低い。 ○日本の周辺の海洋名を選ぶ問題の正答率は，89.2%と市の平均より1.9ポイントとやや上回った。 ●日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに地図を読み取る問題の正答率は，44.1%と市の平均より5.6ポイント低い。	・日本周辺の海洋名など，児童に馴染みのない学習は，丁寧に授業を進め，繰り返しテストやワークシートへの書き込みをしてきた成果と考えられる。国や地形の名称を答える問題の正答率はやや高いが，知識を複数組み合わせて答える問題の正答率が低いことから，知識の定着が部分的であることが分かる。歴史や政治の学習で，日本の地形の名称，国，海洋の名称を繰り返し確認することで，幅広い知識の定着を図りたい。
農業や水産業	本校の平均正答率は，市の平均と同程度である。 ○複数の資料に着目して，魚の流通にかかる費用について捉え，判断する問題の正答率は，87.4%と市の平均より4.2ポイント高い。 ●都道府県の位置の理解をもとに，米の生産量についての表を読み取り，白地図にまとめる問題の正答率は54.1%と市の平均より7.6ポイント低い。	・資料を読み取り，考えをまとめる力は育ってきているので，今後も資料を活用した授業を充実させていきたい。都道府県の位置が不確かなため，正確に白地図に書き表すことができない傾向がみられることから，都道府県の位置と名前については，4年生から繰り返し学習し，確実に理解できるようにしていきたい。
工業生産	本校の平均正答率は，市の平均と比べるとやや低い。 ○大工場と中小工場の理解をもとに，資料を読み取り表の空欄に当てはまる言葉を選択する問題の正答率は，53.2%と市の平均と同等である。 ●自動車工場の作業工程の絵に，ふさわしい内容の説明を選択する問題の正答率は，66.7%と市の平均より4.2ポイント低い。	・資料を活用しながら，日本の工業の特色について学んできた成果が表れていることから，今後も資料から分かる事実とそこから考えられることを，丁寧につなげる授業実践を継続していきたい。自動車工場については，コロナ禍における学習活動の制限のため，実際に工場見学に行けなかったことも大きな要因と考えられる。感染状況を見ながら，オンライン見学や校外学習を実施し，実感を伴った授業づくりを進めることで，知識の定着を図りたい。
産業と情報の関わり	本校の平均正答率は，市の平均と同等である。 ○資料に着目して，コンビニエンスストアのポイントカードの利点を考え，文章にまとめる問題の正答率は，67.6%と市の平均より1.4ポイントとやや高い。 ●インターネットを利用するときの注意点を正しく選択する問題の正答率は86.5%で，市の平均より2.4ポイント低い。	・身近な社会問題については，関心が高く，経験を生かしながら学習することができたため，正答率が高くなった。今後も社会と自分の生活を結び付けて捉えられるような学習を進めていきたい。インターネットの利用に関する問題では，文章をよく読み取らないと正しい判断ができないことから，社会的知識だけではなく，国語の力も活用し，どの場面を述べているのかを正しく理解できる力を身に付けていきたい。
日本の政治	本校の平均正答率は，市の平均と同じである。 ○国会の仕組みについて答える問題の正答率は，75.7%と市の平均より4.5ポイント高い。 ●日本国憲法の三原則を記入する問題の正答率は，66.7%と市の平均より2.7ポイント低い。	・今回は「非核三原則」という言葉が思いつかなかった児童が多かったが，国の政治の仕組みについての主要な用語や機能は，学習を通して身に付いている。内容と用語を結び付け，問われていることに対して適切な用語が答えられるよう，繰り返し学習することで，確かな知識を身に付けさせたい。
日本の歴史	本校の平均正答率は，市の平均と比べるとやや低い。 ○元寇についての理解をもとに資料を読み取る問題の正答率は，78.4%と市の平均より3.2ポイント高い。 ●室町文化に当てはまらないものを選択する問題の正答率は，58.6%と市の平均より15.8ポイント低い。	・歴史の大きな流れや出来事については，関心があり，意欲的に学習に取り組んでいる。正答率が低かった問題は，「当てはまらない」という言葉をよく読まずに，「当てはまるもの」を選んでしまった傾向がみられる。質問の意図をきちんと判断する力がやや不足していることから，社会の学習でも，課題を自分なりに理解したり，判断したりする経験を，授業で多く取り入れることで，個の力を高めていきたい。